

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市北部地域療育センター	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 同愛会 ・代表者名 理事長 高山 和彦 ・住所 横浜市保土ヶ谷区上菅田町1749	評価者	障害計画課長
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	通園定員 60名 通園契約児 232名(前年度242名) 診療所利用児数 年間延べ5,790名(前年度 5,810名) リハビリ・検査実施数 年間延べ6,804名(前年度 6,167名)		
収支実績	【収入】 ○給付費等 110,951千円 ○医療費等 37,565千円 ○指定管理委託料 287,046千円 ○その他 6,354千円 計 441,916千円	【支出】 ○人件費 307,632千円 ○事務費 46,811千円 ○事業費 23,369千円 ○その他 0千円 ○固定資産 6,481千円 ○繰入金 31,000千円 計 415,293千円	収支差額 26,623千円
サービス向上の取組	・医師の増員により、早期の専門的なアドバイス・支援につなげることが可能となった。 ・併行通園クラスについては、保護者からの要望もあり、通っている保育園・幼稚園を集中的に訪問する期間の設定を継続し行ったことで、関係機関との一層の連携が行われた。 ・療育センターの「ほくほくまつり」を近隣のこども文化センター・老人いこの家・生活介護事業所等のお祭りとの合同開催により、地域とのつながりが一層強化された。 ・父親交流会を継続的に年2回開催し、異年齢の子どもを持つ父親どうしのグループワークを行うことで、保護者間の交流・情報共有がなされた。 ・駐車場の確保、医療的配慮が必要な子どもの送迎の個別対応等、施設利用に向けて現状の課題を把握し、迅速に対応した。		

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・療育センターによる内部研修の実施と多くの外部研修の参加により、支援の質の確保に努めている。 ・療育センターの特徴である複数の職種が連携したチーム療育により、子どもの個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っている。 ・療育の相談、支援を現状に即して工夫し、適切な方法により行われている。 ・保育園・幼稚園訪問を集中的に行う期間を設けて情報の共有を密に行うことや、多くの子どもが通う医療機関からの医師を登用することで、関係機関との連携が円滑に行われている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) ・収入については、給付費をはじめ当初見込みを上回り、安定した収入が確保された。 ・支出については、適切な執行により予算内で執行されている。 ・金銭管理や会計手続が適切に実施されている。					
サービス向上の取組み	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			

サービス体制	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 指定管理導入の事業を継続し、区役所、地域、関係機関との連携の強化に取り組んでいる。 狭小な駐車場対策として近隣の駐車場の確保や医療的配慮が必要な子どもについて送迎の個別対応等、施設利用に対するサービスについて、現状の課題に対し迅速に対応した。 併行通園クラスについては、引き続き前期・後期各3週間ずつ保育園・幼稚園の訪問期間を設定し、集中的に関係機関を訪問したことで、支援方法等の共有、連携に効果的であった。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 利用者(保護者)のニーズ等を考慮して、医師を増員し、診療体制の向上を図った。 支援上の利用者からの要望や、施設建物の修繕に関することまで必要に応じ所管課と連携をはかり、解決に向けて迅速に取り組んでいる。 法令等で定められた、防災訓練が適切に実施され、実施後に課題の把握、改善が適切に行われている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、専任のスタッフが点検・補修等を行い、修繕が必要な場合は随時所管課と連携をとり、迅速に対応している。 屋内の定期保守点検や清掃、警備について、仕様書どおり実施されている。 					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> 仕様書に記載された管理運営に関する基本的な考え方を踏まえ、子どもに最善の支援が行えるよう効率的かつ適切な施設管理を実施している。 現状に即した療育の相談、支援方法を工夫し、関係機関との連携をはかりつつ、子どもの障害特性に合わせたニーズへの対応が適切に行われている。 第1・3(土)開催している施設開放ひろばの継続実施、近隣の福祉施設と合同の地域まつりの開催等が行われ、地域との連携強化が図られている。
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> 適切なサービスの提供に向けた特に安全管理・法令遵守等研修の実施及び防災等緊急時の対応の徹底に努めること。 発達障害等の学齢期児童の支援について、そのあり方や学校等関係機関との連携を含めて、具体的な検討を進めること。
--